

竹田陽一の経営随筆集

2022年9月20日 第30号



宗教はもっと単純だったはず

これ迄、最も多くの人を殺したのは「戦争」と思われているがそうではなく、宗教だそうです。

社会の秩序を乱し、世界の秩序を混乱させている原因の背景には、たいがい宗教がからんでいます。

その宗教はどうやって生まれたのでしょうか。

宗教が生まれたのはとても古く、宗教が生まれた動機は、自然現象に対する恐れからでしょう。

部厚い雲が発生したかと思ったら、鋭い光を放ったあと、大きな音を立てる雷。そのあと人のこぶし位の大きさもある、氷のかたまりが降ってくることもあります。

大雨による洪水で、多くの土や木々が流されることもあります。人が立っては歩けないような強風が吹いたり、大雪のため身動きができなくなることもときどき起きます。地面がはげしくゆれて山やがけが崩れる地震。

これらの自然災害に、人の力はなんの役にも立たないばかりか、多くの人死亡します。

これ以外に病気も発生するので、人々はいつも不安な生活をしてい

たはずです。

現在、これらの自然災害が起きる原因は解っていますが、大昔はなぜこのような災害が起きるか全く解っていませんでした。

こうした人々の不安を、少しでもやわらげるために考え出されてのが、宗教になります。

ある宗教を考え出した人が、特別熱心に布教活動をする、その考えに賛同して協力する人が出ます。賛同する人が多くなると、教団としての「組織」が作られます。

組織が誕生すると宗教の教えとは別に組織を構成する人々の欲望を中心に、全く違った動きが始まります。

その1つ目は、教団の組織が大きくなると、今度はこの考えを開発した教祖をはじめとして、教団を構成する幹部が良い生活をするためや自尊心を満足されるため、信者から金を巻き上げるようになることです。

信者から金を巻き上げる方法は、これ迄にいろんな方法が考え出されています。キリスト教では協会に多額の寄付をすると、これ迄犯してきた罪がすべて許されるという、「免罪符」の発行になります。

もしキリスト教の本部の方針に意義を唱えようと、「異端者」の汚名をきせられて、火あぶりの刑にしていたのですから、今から考えるとゾッとします。

統一教会では、この印鑑セットを買うと先祖の霊がしずまるとか、このツボを買うと先祖が幸せになると言って高額な金をまき上げていました。もし買わなかったら、先祖の霊が苦しみ、のたうち回ることになると、強く迫ります。

脅迫です。

この宗教と関係ない者からすると、「そんなでたらめな作り話をして信者から高額金をまき上げようとしている、お前自身の先祖が、お前の後ろでひどく悲しんでいる」と言いたくなります。

しかしこの宗教に帰依している人はそういう反論ができず、多額の金を差し出すことになるのです。

いうところのマインドコントロールです。

2つ目の動きは、その宗教を強く信じる人が何人か集まると、宗教の本部とは別に小集団ができます。

この人々は自分達とは、違った考えをしている人を、集団で攻撃するようになります。このやり方がエスカレートしたのが、自爆攻撃になります。

それやこれやで、これ迄最も多くの人を殺してきたのは、宗教になるということです。

神は存在するか、宗教と切っても切り離せないのが神の存在です。神が存在するかしないかは、大昔から議論されています。

先般自然科学のテレビ番組を見ていたら、ある科学者が次の発言をしていました。

現在私達が存在している宇宙は、138億年前にある小さな1点で大爆発が起きて作られたビッグバンです。大爆発が起きたときは時間が止まり、空間もなかった。

空間がなければ『神がいる場所そのもの』がなかったのだから、神は存在しない、と言っていました。なるほどそうか、ということです。

それでも神を信じるのは、かつてエミール・クーエが言った「自己暗示」と同じになるので、これを知った上で神と付き合えば、人を殺すような行動はかなり防げるばかりか、大金をまき上げられることも防げるでしょう。

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>